

I 策定の趣旨

1 趣旨

○ 平成21年3月に策定した「あいち山村振興ビジョン」(以下、「従来ビジョン」という。)が平成27年に目標年次が到来することから、これまでの施策の進捗状況や外部環境の変化などを踏まえ、新たに三河山間地域の将来像を描き、その実現に向けた重点的な施策展開の方向性を明らかにする「あいち山村振興ビジョン2020」(以下、「新ビジョン」という。)を策定する。

2 目標年次

2030年(平成42年)頃の地域の姿を展望し、2020年(平成32年)を目標とする。

3 対象地域

三河山間地域の6市町村

〔岡崎市(額田地区)、豊田市(旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡の各地区)、
新城市、設楽町、東栄町、豊根村〕

〈三河山間地域 位置図〉



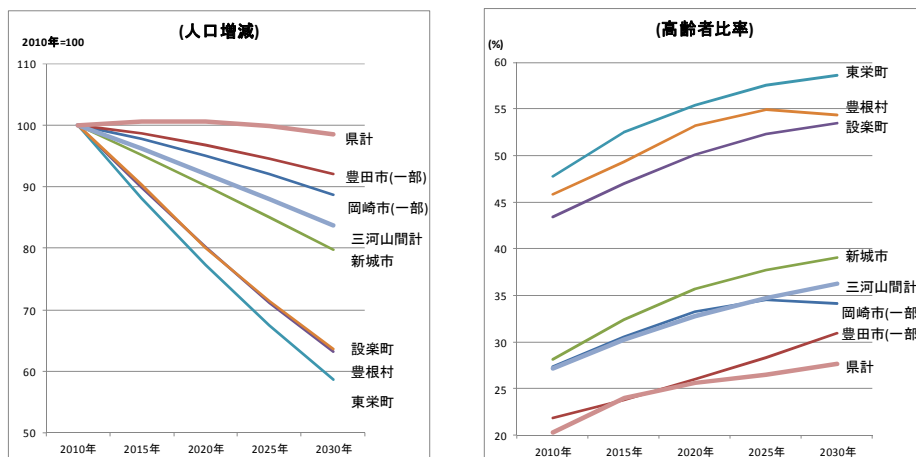
II 基本的な考え方

(現状と課題)

- 三河山間地域は、県土面積の約3分の1を占め、農林水産物の供給を始め水源のかん養や自然環境の保全など、県全体を支える重要な役割を担っているが、高齢化や少子化の一層の進行とともに集落機能が弱体化し、地域社会の維持が困難な地区も発生しつつあり、また、農林業の担い手の高齢化や後継者不足が進行するなど、地域の活力低下が深刻な状況にある。

<将来の人口増減・高齢化率(推計)>

～国立社会保障・人口問題研究所の推計では、設楽町、東栄町、豊根村の2030年の人口が2010年の6割前後まで減少し、高齢化率は55%前後まで上昇～



資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」等による。

<今後、集落として必要な取組(複数回答可)>(%)

～小規模高齢化集落では、買い物・通院等の移動支援、住民同士の交流・親睦、集落ぐるみの営農や獣害対策などの取組に対するニーズが高い～



資料:平成26年度三河山間地域小規模高齢化集落調査(愛知県)

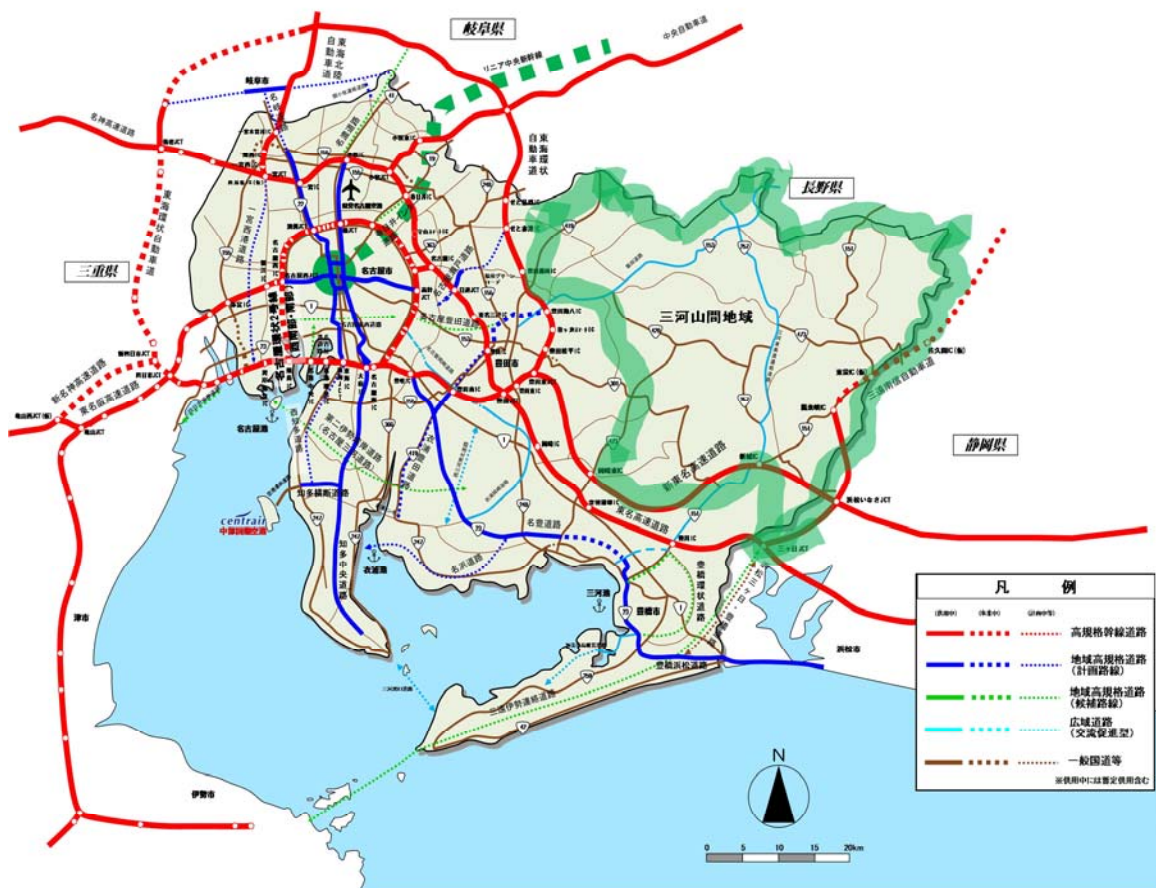
(注)小規模高齢化集落は、人口100人未満かつ高齢化率50%以上の集落で、三河山間地域の全473集落のうち13.5%(64集落)を占める。

- 他方、都市からのU I Jターンを受け入れるための空き家等の住まいや雇用の場の確保も難しい状況にあり、矢作川や豊川の流域圏における都市との交流・連携は普及・拡大しているものの、名古屋市や浜松市などの大都市との近接性が十分に活かしきれていないとは言えず、まだまだ人を継続的に呼び込む状況にはない。

(情勢変化)

- 一方、近年、首都圏の若者を中心とした「田園回帰」志向が拡大する中で、地域おこし協力隊など都市部からの若者移住者が次第に増加し、その活躍が注目を集めるとともに、国・県・市町村を挙げた地方創生の取組がスタートし、地方への人の流れ、地方移住の機運などが盛り上がりつつある。
- また、平成27年度に新東名高速道路(浜松いなさJCT-豊田東JCT間)が開通したことや、平成30年度中に三遠南信自動車道(佐久間IC<仮称>-東栄IC<仮称>間)が開通予定であることなど、広域交通基盤の整備が段階的に進展し、流域圏や三遠南信地域における交流・連携が一層普及・拡大するとともに、名古屋市や浜松市などの大都市との連携・協力を本格的に展開する環境が整いつつある。
- さらに、2027年(平成39年)度に予定されているリニア中央新幹線の東京-名古屋間の開業は、中間駅(飯田市・中津川市)に近接する三河山間地域にも大きなインパクトを及ぼすものとなる。

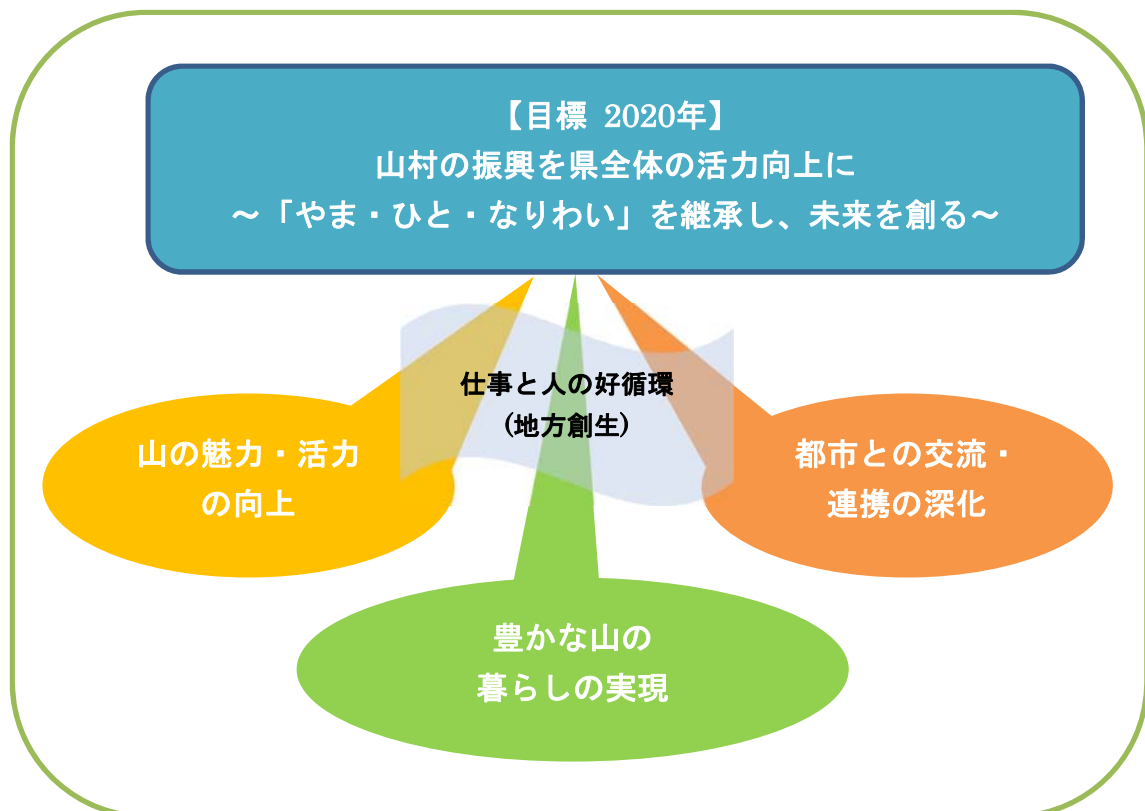
<幹線道路網との関連図>



(めざすべき方向)

- こうした三河山間地域が直面する課題や情勢変化を踏まえ、従来ビジョンが掲げる「緑が生きる豊かな山の暮らしの構築」を基本としつつも、本県の伝統文化やモノづくりの技を支え、育んできた同地域の「やま・ひと・なりわい」を県民が継承し、持続発展的な未来を創り出していくことを通じて山村の振興を県全体の活力向上につなげていくことを新ビジョンのめざすべき基本方向とする。
- そして、そうした方向に向かうため、豊かな山の暮らしの実現に加え、山の魅力・活力の向上や都市との交流・連携の深化といった観点からも相乗効果の高い施策に重点的に取り組んでいく。
- その際、地方創生の観点から、山村に新たな仕事を生み出し、その仕事が都市から人を呼び寄せ、その人がさらに新たな仕事を生み出すといった好循環の確立に向けて、人々の暮らしや地域づくりと一体となった「生業(なりわい)づくり」に取り組んでいく。

<めざすべき方向のイメージ>



(参考)「あいち山村振興ビジョン」の主な成果

本県では、「あいち山村振興ビジョン」(平成21年3月策定)に基づき、施策展開の基礎となる「インフラ整備」と「地域間・主体間の連携」の上に、「生活環境の充実」など6つの柱で施策展開の方向を整理し、それぞれの方向に沿って各種取組を推進してきた。

(施策展開の基礎)

- 「インフラ整備」では、新東名高速道路が供用を開始し、その他、幹線道路を中心とした地域内道路の整備も着実に進捗している。また、「地域間・主体間の連携」では、矢作川や豊川の流域圏における山村と都市の交流・連携が普及・拡大したほか、大学等との連携により広域連携バス「おでかけ北設」の運行や花祭の保存・伝承などの取組が着実に進展している。



<新東名新城 I C>

(施策展開の6つの柱)

①生活環境の充実

教育面では、設楽町にある県立田口高等学校に県立豊橋特別支援学校の分教室「山嶺教室」が設置されたほか、情報基盤の面では携帯電話の鉄塔整備が、また防災面では治山施設や砂防施設の整備などが着実に進められている。

②集落機能の維持

「三河の山里サポートデスク事業」により、平成25年8月の開設以降、5市町村・8団体が受入れ登録し、延べ146名(平成28年1月現在)の都市住民が草刈などの支援活動を実施している。



<愛知県交流居住センターのホームページ>

③交流居住の活性化

県営住宅の建設のほか、県交流居住センターと東栄町が共同で実施した「空き家リフォーム住宅見学会」を通じて3年間で9組の家族が移住するなど、移住者受入れのための取組が徐々に実を結んできている。

④産業集積の促進

岡崎東部地区などインターチェンジ周辺地域を中心とした工業団地の整備や豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業が着実に進められている。

⑤地域のブランド力の強化

「あいちの山里で暮らそう80日間チャレンジ」や「地域おこし協力隊(国の制度を活用した市町村事業。県は募集・研修等を支援するとともに、各隊員を「あいちの山里で暮らそうチャレンジ隊」に認定)」の事業、また「はっけん!奥三河 navi」の発行など観光振興・特産品振興等に関する多彩な取組が進められている。

⑥農林水産業の振興

「ジビエ・グルメ・グランプリ」の開催等を通じて本県産獣肉の消費拡大が図られているほか、「あいち森と緑づくり税」を活用して人工林の間伐や里山の整備、技術者の養成等が進められている。



<ジビエ・グルメ・グランプリ>

Ⅲ 将来像と重点的施策

「Ⅱ 基本的な考え方」を踏まえ、2030年(平成42年)頃の地域のめざす姿を「山の暮らし」、「山の魅力・活力」、「都市との交流・連携」の3つの観点から以下のとおり展望する。

◆山の暮らし

- 若者を中心として山村になりわい(生業)を求める人々の移住・定住が進み、自然豊かな山村ならではの暮らしと住民間相互の信頼・協働に支えられた地域づくりが一体となって持続的に営まれている地域をめざしていく。

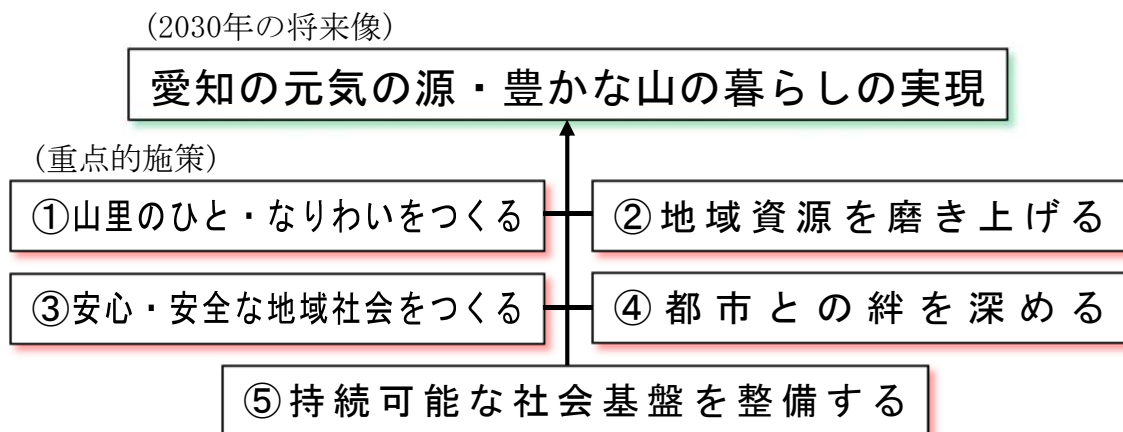
◆山の魅力・活力

- 地域特性を活かした農林水産業や6次産業化等の取組が一層活発に展開されるとともに、自然環境や伝統文化等の地域資源が磨き上げられ、観光振興や各種ツーリズム等の展開により多彩な山村の魅力が戦略的に創造されていく地域をめざしていく。

◆都市との交流・連携

- 広域交通等の社会基盤整備の進展とあわせて、矢作川、豊川の各流域圏での交流・連携が一層普及・拡大するとともに、名古屋などの大都市との交流が拡大し、都市と山村の確かな絆のもとに、山村の豊かな暮らしを実現することが、県全体の元気の源となるようめざしていく。

上記の展望のもとに、2030年の地域の将来像とその実現に向けて取り組んでいくべき重点的施策を次のとおり設定する。



地域おこし協力隊の活動状況

現在、5市町村で15名の地域おこし協力隊員が様々な活動を展開中。これまでに9名が卒業し、うち6名が定住。

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
隊員数	2	2	2	5	15	15
受入自治体数	1	1	1	3	4	5



トレイルランニング大会の
企画・実施



ビューティツアーの企画・実施



特産品の開発

※「地域おこし協力隊」は、人口減少や高齢化等が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域の維持・強化をめざす制度。

高校生ワークショップ（ミライカフェ三河の山里 2015）の開催状況

三河山間地域の担い手となる若者の意見を集約するため、地元高等学校（新城東高作手校舎、新城高、田口高）の職業科の生徒を中心とした意見交換会を実施。

※作手校舎

地域の持続性のために『今わたしたちが始めるプロジェクト』を考え、愛知県に提案してもらおうワークショップを実施。生徒の提案・関心は、『空き家活用』『元来作手が持っている魅力の発信』『交流』に集約された。



新城東高等学校作手校舎の様子（10月9日）